

未来の長浜市を創造するまちづくり委員会

自然・生活分科会 議事録

日 時	平成21年8月27日(木) 18:00 ~ 19:00		
場 所	木之本町役場 3階 集会室		
議 題	自然・生活分科会提言整理について		
出席者	茂森伍朗会長、柴田昌彦副会長、田中伝造委員、大橋香代子委員、伊藤昇太郎委員、横田正文委員、吉田徳夫委員、浅井憲彦委員、佐藤登士彦委員、山口正之委員		
市	分科会事務局 環境保全課 若林 中川		
6 町	木之本町健康福祉課職員		
傍聴者	あり(人)・なし	報道機関	あり(新聞社)・なし

【協議結果】

- ① 自然・生活分科会提言整理について

- ② 次回日程とテーマ
 - ・ 次回日程 10月8日(木) 18:00~19:00
 - ・ 次回開催場所 「長浜市役所」
 - ・ 次回テーマ「提言の取りまとめ」

- ③ その他
 - ◎市の他の所管課への要請等(分科会事務局対応)
なし
 - ◎6町への要請等(企画調整課対応)
なし

主な意見・要点列記

会長	<p>前回も、お話ししておりましたようにもう後2回ぐらいでまとめていきたいと思います。現在の課題と取組を踏まえ、要望でなく提言と言うかたちでまとめていきたいと思います。前回までの資料を用意して頂いております。議論は1時間程度で協議をしてまとめて参りたいと考えます。</p>
事務局	<p>花川委員と野村委員は欠席を聞いておりますので、ご連絡させていただきます。前回のとりまとめを説明。自然環境の保全、循環型地域システムの構築（生ゴミ処理機等）、住みたくなる住環境の整備（集落ぐるみでの景観町づくり）、美しい景観の保全・安全で安心な町づくり（課題等について何点か意見があったが提言はあまりなかった） 循環型地域システムの構築と住環境の整備、美しい景観の保全、安全で安心な町づくりについては、あまりご議論が少なかったかと思えます。</p>
会長	<p>唯今、前回のまとめの報告がありましたが、これを踏まえご意見がありましたら・・・。虎姫の「里山が好きな女性の会」の資料がありますが、これについて説明をお願いします。</p>
A委員	<p>発足は、平成9年3月、会員12名、資本金は10万円、会費は入会金1万円、月会費1千円。目的は虎姫の景観を良くする。虎御前山など竹やぶがたくさんありますので、その竹の処理に皆さん困っているということで、竹炭を作る。最初は竹炭をする所も少なかったが、最近は増えている。売り上げも少ないわけです。活動内容は、竹の間伐、切り出し、竹炭作りなど。年間2回ほどイベントとして、一般の森林ボランティアを公募して、春は、タケノコ掘りの体験をして、昼食にタケノコを使った料理を出しておられます。秋は竹林の整備と、炭焼きの体験、昼食に煮込みご飯など出しておられます。また小学4年生を対象の山の子学習にも協力しておられます。一般対象には、炭焼き体験や竹細工作り体験などです。その他として平成12年度から虎姫町の特産としてやっておられますし、炭焼きをやっておられる釜は自分達でつくられた窯でございます。今後の問題点としては、いろいろな体験等を受け入れる拠点となる場所が必要なので、できればそういったものを作りたいという希望があるようです。炭焼きの窯の老朽化、会員の高齢化による新会員の募集をしたいということ、後は運営資金不足。売り上げは10万円という微々たる資金です。最近は竹林の掃除と言いますか、そういったことを主にされています。竹はCO2の吸収もよく、環境問題に対して対応していただいているというようなことです。</p>
B委員	<p>虎姫の景観のため活動されてる。</p>
C委員	<p>ボランティアで月千円で一年1万円以上になりますよね。</p>
A委員	<p>月千円をどういう風に使っておられるのかは、ちょっとわかりません。</p>
C委員	<p>ボランティアで自分でお金を出してするって言うのは難しいですね。</p>
A委員	<p>虎御前山というのはJRの虎姫駅から近いので将来的には観光誘致というようなことで。</p>
B委員	<p>これはここでいうと自然環境の保全に入る訳。</p>
会長	<p>そうです。 その他あれば出していただきたい。先ほど申しました美しい景観の保全と、安全で安心な町づくりは意見が少ないので。 安全安心な町づくりというのは防災、防犯。過疎化される中で安心安全にはどういうふうになればよいかとか。特にお年寄りの方について。</p>

D委員	<p>僕は提言といのは未来を夢が語られるのが一番良いんで、こういうことをしたら良いんじゃないかという意見をお願いします。過疎化の村であれば今は過疎化であるがここで住みたい、自然環境の良さを生かすためには、安全安心で住んでもらえるという提言があれば。そういう機運もある。余呉にはフェスティバルというのをしている公団があって、水源の里振興財団というのを計画しておりまして、その中で町内の農業者で自治的な組織していこうという機運もあります。</p>
会長	<p>そういうイメージングして、インターネットで発信する。</p>
D委員	<p>水源の里は余呉町だけでなしに、木之本町、旧E町と一緒に提携してやるとよい。</p>
会長	<p>これは提言ですね。</p>
D委員	<p>山の間伐、手入れが中々できない、高齢化で。そういうのに支援を。</p>
会長	<p>提言書の中では各所でやっているのを集約して全国に発信していくと、いうことをやったらどうかと。提言の中で一まとめでやればどうか。</p>
C委員	<p>清流の里だけでなく、他にも住みたくないと。</p>
E委員	<p>地元のベテランの人が講師となって、今ウッドイパルで木工やってますよね。そういう体験ができるような、野菜を植えるにしても、どういう肥料をやったらよいのかとか難しいので、そういう体験。植樹でもよいし。補助金のあるなしにかかわらず、地元になんか任せてしまうのではなく、ある程度役所がサポートしての方がよい。定期的に専門家を呼んで、現地指導というか。地元になんか任せてしまうと、虎御前山でないけど、尻すぼみになってしまう場合もあるし、高齢化で、中々続かないことが多いのではないかと。定期的に専門家を入れるのはどうかと。</p>
会長	<p>課題としてはそういうものが発信できてないと。いろんな地域で専門的な知識が生かされてないと。 とりあえずほうりこんで、あとで整理をしよう。</p>
G委員	<p>確かに講師を呼ぶこともやけど、まず企画、立案。リーダーとして、企画して引っ張っていくということ一番必要。愛東のマーガレットステーションにしても、あれだけ立派になったのはリーダーがいたから。</p>
B委員	<p>いきいきリーダーの育成やな。</p>
会長	<p>リーダーの育成が大事ですな。</p>
C委員	<p>安全、安心な町づくりについてですが、旧E町の高い所と低い所と高低差が90メートル位あるようで、私の住んでる地域は、もし川が決壊すれば沈んでしまう位の低い所にあるらしいです。もしこういうことが起こった場合の水害に対する備えがどこまで出来ているか不安に思います。過去姉川が決壊して、百年位までも水害が起こったことがあるんです。</p>
会長	<p>前は安全安心の町づくりのためにダムをつくって、水の調整をしようということになってたけど、じゃあそれに変わるものは何やと。</p>
C委員	<p>馬渡や唐国なんか屋根が見えてますわね。</p>
会長	<p>それやったらこれをしてくれると困ると、安心のためにこういうことを地域で進めたらど</p>

	うかと。
F委員	ハザードマップがありますよね。
C委員	あります。避難する場所とかはわかってるんですが、高いところに住んでる人と、低い所に住んでる人の認識が違うので、どうかと。前に大水が出てもうちょっとで決壊しそうなことがあって、危惧を感じたもので、提言に入るかわかりませんが、水害に対する備えというの必要ではないか。
会長	提言としては水害が起こった時に安心安全に住める、分かりやすい何かをしてもらいたいものです。
C委員	ハザードマップもいただいたけど、こうなったら、どこ何処に行きなさいとか。危険箇所、高いところとか。
B委員	もっとPRが必要ってことでしょ。行政としては作っているけれど、住民はあまり知らない。それを広めると。提言で出すと。
D委員	ハード部分はきちんとそれぞれの河川でやってるんやろうけど。
C委員	ここら辺が決壊したらここが危険地域ですよとか。
D委員	この間の水害とかたくさん亡くなったのは、自分から行って亡くなってる人が多い。そういうことを無くす何か。
E委員	国の方から危険箇所を調べる調査表がきているようだ。
会長	低地住居者の認識が低いので、水害による恐怖やな。水害の恐怖。
F委員	米川の辺にすんで居る人は危険ということはわかっておられる思う。
C委員	低地に住んでいる者はわかっていないのではないか。
会長	いや、危険という事はみな分かっている。それが全部に徹底できるようなものがあるのか。今話が出ている所だけでなく他6町にもあるから、それを明らかにしていく。
F委員	町、市ごとに、危険箇所のハザードマップはできているので、それを自治会ごとにどう対応していくのか。来た時に。
C委員	来た時でなくて、未然に防ぐことはできないのか。
F委員	それであれば、行政でハード面の対応をしてもらわなくてはならない。堤防強化とかダムとか。
会長	災害が起こった時に最低犠牲者が出不いようにはこうすると。行政は行政の仕事があるんで、我々はそういうことが最少限度に防げると、そういうものを提言していくと。こういうことですね。
D委員	気候変動でいろいろなことが起こっている。去年長浜市内でも集中豪雨がありましたわな。もし余呉町から木之本町にかけてあのような豪雨が起こったらどうなるか。

会長	それも提言で出したらよい。
D委員	ダムを中止するとかいう話になっているが。
会長	それはこっちへ置いといて、提言をしていく。
C委員	ダムだけでなしに、姉川流域ですから堤防も。
D委員	確かに県の方針で堤防の強化が行われていますが、中々それでは追いつかないのではないかと心配している。
会長	中々出来るものと出来ないものがあるのと分けて、その中で提言としてマップのほかには何かありますか。
B委員	この間の水害の時に、避難時に川か道か分からないということがあったようだ。わずか40センチほどの川で被害に遭われたりしている。避難する時にわかるように、地理的なセキュリティといいますか、安全柵とか、目印とかを設置してはどうか。
会長	水害は一気に起きるものなので、そこをどういう風に対処していくか。
E委員	この間の水害は町が非難勧告を出すのが遅かった。県が勧告をだしてから1時間たってからである。ましてや町には専門の職員がいないということも問題なのではないだろうか。
G委員	余談ですが、この間テレビで見たんですが、山あいに住むお年寄りが自宅近くの川の音が、いつもと違う、おかしい音がすると。昔から違う音がすると危ないという話がつたわって、下流の地域に人を避難させてので、鉄砲水から救われたということを書いていました。
F委員	うちは本当に下流だが、皆危険という意識はありません。
会長	<p>後1回でまとめなくてはいけない。今日はもう時間が迫っているので、ここらでまとめをどうするか。課題があるので、これに対してこういう取り組みがあるので、足りないところがあれば、更にこれをもっとこうしたらどうかというような。あくまでも提言なので、1項目につき2つに絞り込みながら修正して提言書としていきたい。</p> <p>共通の課題と地域課題に分けたらどうかということで、1を共通課題、2を地域課題と番号を打ってもらってやったらどうでしょう。</p> <p>まず共通の自然環境の保全の中でこれだけ盛り沢山出ました。これをポイントをいくつ位にまとめていったらよいかということですが、これは重要だというものがあれば。その中で、わかりやすい言葉で提言書にまとめていったらどうか。</p> <p>もしこれだけで分からないというのであれば、次の段階で、共通するものをあてはめていきながら、類似したものはまとめて行けばどうか。自然環境の中で9つ出ているので、例えば森林の保全という中に自然を活かした町づくりとか、ボランティアによる植林場所の確保とか共通になるのでは。類似したものを集約しながら、一つの文章にまとめていけばよいのでないか。どうですか。</p> <p>要は課題に対してこういうように取り組んでいますよと、更にこうするとこうなりますと。</p>
事務局	表でなくて、文章でよろしいか。
A委員	表の方がわかりやすいのは、わかりやすいですね。
会長	系統図にすればどうか。系統図でいくと、自然と環境を良くするということは、いくつか

	あるわけ。自然環境の保全、循環型地域他にもいくつかある。これを最終的にどうゆう形でまとめるか。
事務局	今出てある項目を整理した表を作らせてもらって、提言の部分についてもまとめられる分はまとめて、これを送らせてもらって、委員さんでそこに埋まる部分、具体的な部分があるのなら、書いてもらって次の会議にのぞんでもらうといいかもわかりませんね。
会長	そういうことで行政の方で整理してもらって、今度まとめましょう。それでよろしいですか。
F委員	里山はどうするかとか、竹生島、カワウはどうするかとかいうことは、いつ、どこへ、どう出したらよいのか。
会長	それは、今ここへ出してくれたら良いんです。
事務局	それが提言になるんです。
E委員	ここに載ったからする、しないでなくて、今取り組んでおられることはこれからも引き継がれると思うんです。ただより深くというかね。
F委員	森林の保全と文章書いているが、また何するのということにならないか。
事務局	今のことは、美しい景観の保全の中でカワウ対策として提言に入ってきます。
F委員	それをどこかで謳わんといけないのでないか。
事務局	言うてくだされば入れます。 次回、まとめた表に書き込んで、皆さんで整理していただけたらよいと思いますが。
会長	6つの部会があるので、それを総合的に整理されて、6部会の提言という形で市長に出されます。それがすべて通るのかという疑問がありますが。いずれにせよ専門的な方が整理される。そうしないと提言がバラバラや。
事務局	違う部会で重なってくることもあると思います。それを全体的に見なければならぬと思います。
E委員	それぞれ取り組んでおられるこれは良いことは、是非とも伸ばして行ってほしい。
会長	6部会皆が興味もっているという形でまとめなければならぬ。まして市民も興味をもてるように、まとめて行かなくてはいけない。
H委員	前回紹介させていただいたDVDをご覧になった方いらっしゃいますか。地球的規模の環境についてのものなので、機会があればご覧いただければと思います。
会長	次回の日程ですか、10月8日木曜日、18時から、長浜で。ありがとうございました。